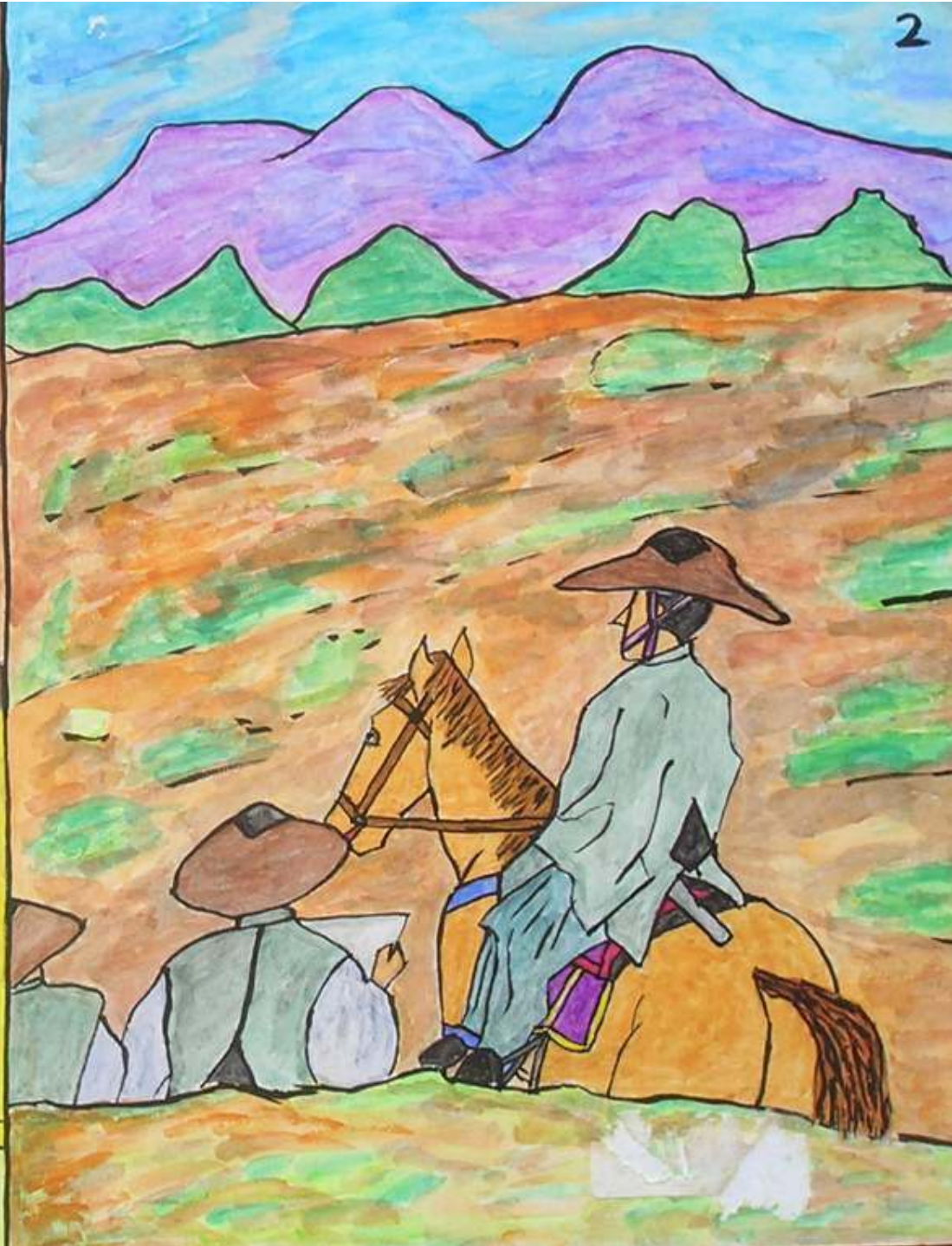


新沼を造った
川端宇兵衛物語

星野正明作
鈴木博画
松原 正広 編集

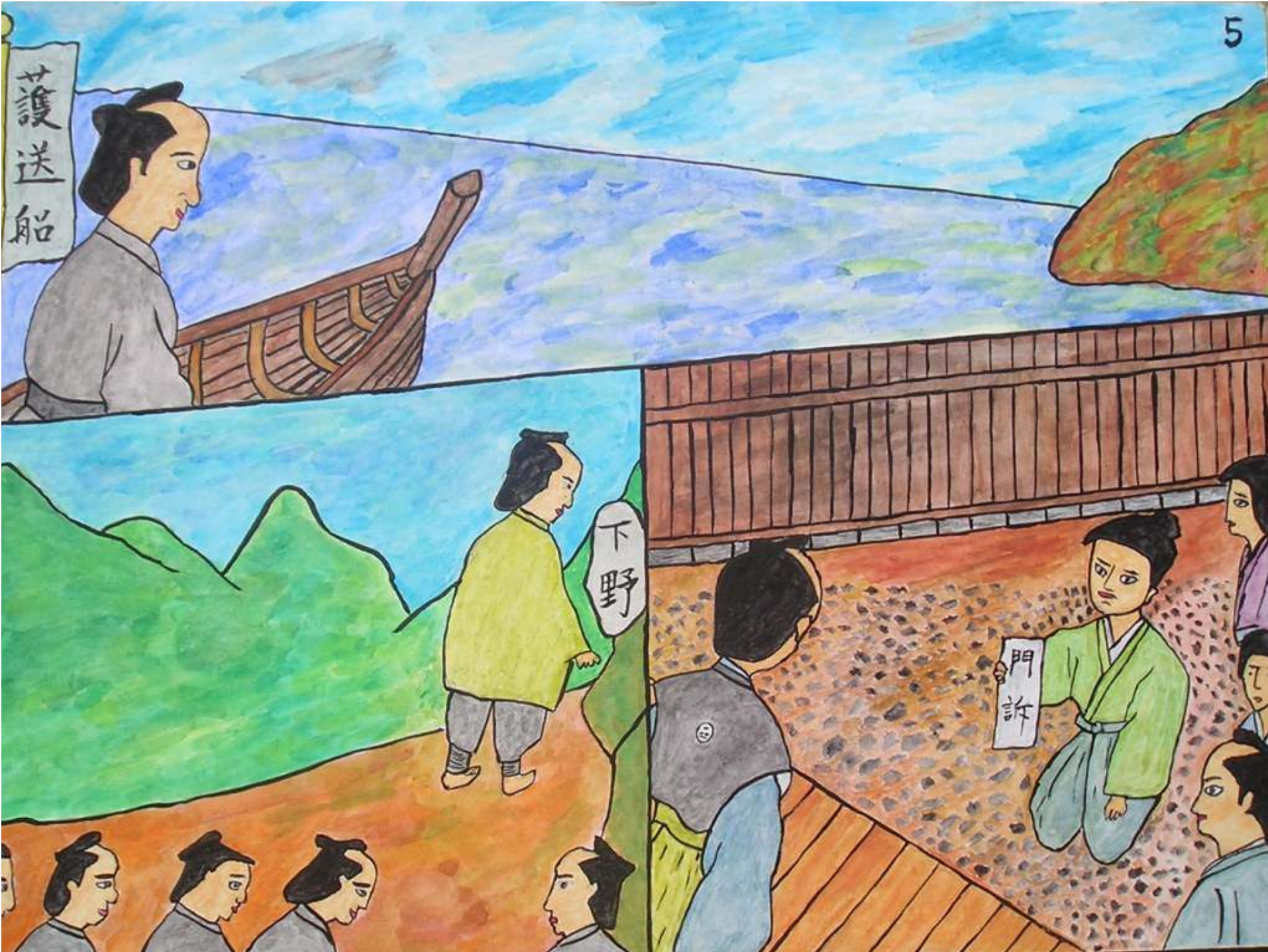




御沼地替儀定連印書

田んぼの用水は粕川の一ノ堰より取水し、八幡宮御山南面を通り、間之田へ御新沼に溜水して使用してきたが、粕川は谷が深く、旱魃には水が無く、よって米もとれず、食べることは

もちろん、御上様への御収納もできず、恐れ入り奉候









川端定平

嘉十郎

新井仁左衛門



拾兩 拾兩

（嘉永七年）
上植木村絵図



普請日記

川端宇兵衛記

文久二年八月十二日 御役所（絵図面を提出す）
 八月二十二日 あすまで道十間より八幡沼入口掘り。此の間敷
 六百四十七間四尺。御定人足千四十人。予算銀壹貫
 五百文拾文。

八月二十九日 沼掘合せで総人足壹万七千五百五十人。賃金
 統計式拾四貫四百貳拾九匁四合五厘。当金四百
 貳拾参兩五匁。ビタ四百参拾八匁。
 水盛り始めの（工事始め）

十月十九日 天地和合に当り鉄立て。
 名主重兵衛等に集合。是迄入用改め金高
 惣メ七拾五兩五匁。大貫八百錢文。仁左衛門

十月二十二日

十月十日

より入金大拾五兩三匁二朱。
 測名村源次郎出向。土方清九郎儀日多勢
 の人足を連れ来り候。

◇土方清九郎ハ小保方村平井組住居。伊達
 遠江守様御領分伊子園宇和
 島の子産

◇土方是吉ハ上州桐生領足利郡下長村





おい

